

Beyond 5G 推進コンソーシアム 企画・戦略委員会
白書分科会（第6回）ビジョン作業班（第9回）／技術作業班（第7回）
議事要旨

1. 日 時： 令和3年9月28日（火）15:00～18:00
2. 場 所： ウェブ会議（WebEx）
3. 出席者：
中村主査（NTT ドコモ）、
ビジョン作業班 小西リーダー（KDDI）、永田サブリーダー（NTT ドコモ）、
技術作業班 中村リーダー（富士通）、下西サブリーダー（NEC）、
WP5D 対応 Ad hoc 菅田主査（KDDI）、武次副主査（NEC）、
ほか、通信事業者、メーカ等、計 82 名
（事務局）総務省移動通信課新世代移動通信システム推進室
井出室長、江原課長補佐、守屋係長、杉山官

4. 議事要旨

冒頭、会議開催に先立ち、中村主査から挨拶があった。

（1）前回会合（第5回）の議事要旨について

事務局から、資料1 白書分科会第5回議事要旨について説明。修正があれば、10月1日（金）までに事務局へ連絡してほしい旨説明。（追記：結果的にコメントはなかったため、原案で承認。）

（2）WP5D 対応 Ad hoc について

菅田 WP5D 対応 Ad hoc 主査、武次 WP5D 対応 Ad hoc 副主査から資料2-1 WP5D 対応 Ad hoc (Vision)、2-2 WP5D 対応 Ad hoc (FTT)、事務局から2-3 WP5D 寄書入力状況について説明。質疑応答は以下のとおり。

中村主査：12月末までにメール審議を行い、WP5D への入力寄書案の承認を目標としたい。

6Gのコンセプトの図を日本として提案する必要がある。いつ提案するかはWP5Dの会合次第だが、スケジュールを考えておいてほしい。

菅田 Ad hoc 主査：承知した。ビジョン作業班でも、どのような図になるか含めて議論したい。

中村主査：皆にも意見を求めることになるので協力をお願いしたい。

中村主査：また、技術作業班で高周波数帯の伝搬の測定結果を白書に反映できるか検討してほしい。

事務局：次々回 WP5D 会合で寄与文書を作成する際の参考のために資料 2-3 寄与文書の一覧についてまとめた。10 月の WP5D で入力された寄与文書も同様にまとめることで、各国の注力している分野が少しでも分かるのではないかと考えている。

中村主査：非常に有益である。日本や白書分科会が注力すべき分野が把握できる。

(3) ビジョン作業班（第 9 回）について

小西リーダーから、資料 4 ビジョン作業班資料について説明。質疑応答は以下のとおり。

小西リーダー：10 月末を目標に白書 0.4 版を完成予定。11 月に開催が予定されている Beyond 5G 国際カンファレンスで白書の状況を報告する。内容は 0.4 版を基に白書分科会の主査・リーダー陣で精査する。

永田サブリーダー：ビジョン作業班のドラフト版の進捗状況、提出状況を 1 枚のスライドにまとめている。第 1 陣は全て提出された。内容の確認が未了であるドラフト版は本日の白書分科会後、エディターズ会議で確認する。

中村主査：9 月 14 日（火）第 8 回ビジョン作業班の議事要旨の状況如何。

事務局：現在作成中である。作成後、登壇者に確認した後に展開する。

(4) 技術作業班（第 7 回）について

中村リーダーから、資料 3 技術作業班資料について説明。質疑応答は以下のとおり。

KDDI 高木氏：現状の報告である。目次 5.2.1、5.2.2 を取りまとめている。各執筆者から提出されたものを確認し、修正している。今後も同様に進める予定。

エリクソン本多氏：具体的なテキストはいつ頃提出をすればよいか。

中村リーダー：取りまとめ者を中心に決めてほしい。

KDDI 高木氏：今後、共同の執筆者内で相談して、執筆内容の分担を決める予定。個別に連絡をする。

中村リーダー：5.1 章について

中村主査：高周波数帯の電波伝搬特性について、技術作業班としてどのように盛り込むか。

中村リーダー：5.2 章の内容だが、測定系、半導体デバイスの内容も盛り込めると良い。執筆者の中で学会発表している内容があれば、共有いただきたい。

中村主査：個別に学会に発表している内容を盛り込めると良い。測定結果を踏まえて盛り込むように検討していただきたい。各者提供できる情報があれば共有してほしい。

中村リーダー：承知した。ぜひ協力をお願いしたい。

中村主査：デバイス関係の話は盛り込むか。

中村リーダー：メンバーの中に執筆する者がいれば盛り込むか、現時点では判断しかねる。

中村主査：デバイス関係について、今後の課題、解決策を盛りこむ方向で検討してほしい。

KDDI 菅田氏：個々のデバイスについて、使用方法やスペック、ユースケースについて考えるのか、デバイスの使用者、製作者の両視点から議論した方が良いのではないか。

中村リーダー：承知した。ビジョン作業班の内容を踏まえて、実現するために必要な周波数、帯域幅、必要な技術を整理する。

下西サブリーダー：各目次取りまとめ者から一言ずつ現状を共有してほしい。

華為日本朱氏：5.2.3の担当は弊社のみのため、随時テキスト入力を進めていく。

ソフトバンク横田氏：5.2.4 HAPSはドラフト版を作成した。現在、メール審議中である。

NEC 里田氏：これから各者の記載内容を取りまとめる予定。AI、アプリケーションなど特色がある内容を中心にまとめる。

ドコモ須山氏：5.2.6以下のサブセクションの記載内容や分担を各者で調整する予定。

KDDI 菅田氏：サイバー・フィジカル空間の仮想空間分野について、どの章に記載するのか。

中村リーダー：仮想空間単独の章は無いが、各章に少しずつ記載する目次構成になっている。

下西サブリーダー：デジタルツイン、アプリケーションテクノロジー、ロボティクス技術について、どのように5Gにインプットされるかは担当者から別途相談する。

(5) 今後のスケジュールについて

事務局から資料5今後のスケジュールについてについて説明した。次回会合は10月26日（火）15：00から開催予定。祝日、年末の関係で11月は11月30（火）、12月は12月21（火）それぞれ15：00－18：00に開催する旨を説明。

中村主査：11月にBeyond 5G国際カンファレンスが予定されている。0.4版ベースで白書分科会の状況を当カンファレンスで説明予定。また、年度末に白書1.0版を完成予定だが、どこかで発表する場を設けたい。

事務局：コンソーシアム総会の日程は、未定である。

中村主査：総会でなくても、特別にワークショップを設けても良い。今後、日程が決まり次第、周知してほしい。

以 上